

県立中央病院連携室だより

- ともに歩む地域医療 -

●発行月 令和5年1月
 ●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)
 ●URL <https://chuo-hp.jp/>

「地域医療連携推進の基本方針」

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携 | 5. 24時間救急受け入れ体制 |
| 2. 地域連携パスと逆紹介の推進 | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療 | 7. 高額医療機器の共同利用推進 |
| 4. PHSによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進 |

消化器内科・内視鏡科の紹介

消化器内科長 城戸 治

皆様方にはいつも大変お世話になり、また、ご迷惑をおかけいたしておりますがご対応頂き、感謝の念に堪えません。

このたびはこのような機会をいただきましたので、当科の現在の状況についてご報告させていただきます。

現在消化器内科、内視鏡科併せてスタッフとして8名（池端敦、赤坂威一郎、城戸治、伏谷淳、白木健悠、本多俊介、佐藤格、田中裕）、専攻医として4名（永塚圭、増尾隆行、猪俣奈々、関野泰幹）の体制となっています。食道、胃、十二指腸、（小腸）、大腸などの消化管や肝臓、胆嚢、胆管、膵臓といった腹部臓器が診療範囲となっており、扱う疾患も癌などの悪性腫瘍や慢性肝炎などの慢性疾患から消化管出血などの急性期疾患まで多岐に渡ります。

今回は当科で行っている内視鏡を使用しての検査治療等について簡単ですが説明させていただきます。

上部内視鏡検査、下部内視鏡検査；食道、胃、十二指腸、大腸の内視鏡での観察から、早期癌などで適応とできる病変であれば内視鏡を使用した消化管内での病変の切除まで行っております。潰瘍出血など緊急対応としての内視鏡処置も行っております。

内視鏡の胆管膵管造影検査；専用の内視鏡を用いて、十二指腸からの操作にて胆管もしくは膵管の造影検査から、結石があれば採石を行い、狭窄があれば通過障害改善のためのチューブ留置などの処置と診断のための組織検査や胆道内視鏡（胆管内に細いカメラを挿入して病変を直接観察し、より確実に組織採取を行う）まで行っております。緊急、準緊急として、胆管結石による胆管炎、膵炎に対する処置として行う症例が多くなっています。

超音波内視鏡；内視鏡の先端に小さな超音波の機械が設置されており胃、十二指腸から隣接する胆管や膵臓の病変の超音波検査を行います。通常腹部超音波検査やCT、MRIにても画像診断の難しい部位であり、より近傍からの検査を行うことで診断につながる事が期待できます。また、超音波で針先を確認しながら穿刺を行うことで腫瘍の組織採取を行い



確定診断につなげる事や、胃の術後などで通常の内視鏡検査では対応できない病変の処置ができます。

技術、道具の進歩により内科的処置（外科処置よりも身体的負担が少なくなる）にて対応できる病態が増えてきています。規模のおおきな病院で対応すべき検査処置を安全に行う事を目標としております。

近々の課題として働き方改革への対応が必要となって参ります。消化器内科、内視鏡科入院の55%程度が予定外入院であるように、通常の業務の半分程度が緊急、準緊急に關与するものであり一日の仕事量のコントロールが難しい現状です。超過勤務時間制限が加わることで一日の業務量の減少は避けがたく、どうしても定期検査、外来を削減することとなります。現在定期フォローさせていただいている方のフォローをお願いすることや、症例によっては当院ではなく、まずは近医での諸検査をお願いする場合も出てくるかと思ひます。試行錯誤しながら適応していくしかないと考えており、これまでもそうであったようにご迷惑をおかけすることもあるかと思ひます。その際は私のところまで直接ご連絡、情報をいただければ幸いです。お手数をおかけいたしますが症例毎の対応を反省し今後の対応につなげていきたいと思ひます。

コロナが未だ終息しない中、インフルエンザも流行しており日常診療で大変ご多忙な皆様のご健勝を祈念させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

医療安全について

近頃、よく耳にするようになった「安心安全」という言葉がありますが、聞く人により様々な解釈をしているようにも感じます。安心とは、心配や不安がなくて心が安らかなこと、また安全とは安らかで危険がなく物事が損傷したり、危害を受けたりするおそれのないこととされています。（広辞苑より）

さて医療についてですが、狭義には診療（診断と治療）であり、広義には健康に関するお世話（ヘルスケア）とされ、診療のみならず、医療機関で行う全ての業務とされています。

以上の内容から「医療安全」という言葉は、医療機関で行う全ての業務の中で心配や危険がない状態にすることと言えますが、完全に安全な状態が作れるのかというと、難しいの一言につきます。これは医療の現場だけではなく社会全体に言えることでもあると思います。そこで、医療の現場での安全を担保するために様々なルールや手順があり、そして安全管理部があり、医療安全の取り組みがあります。当院の安全管理部は、部長兼副院長をはじめ院内各職種からの委員が集まり、毎月定例会議を行い、インシデント事例報告の状況や対策について、また各部署での取り組み状況について検討を行っています。また、安全管理部主要メンバー



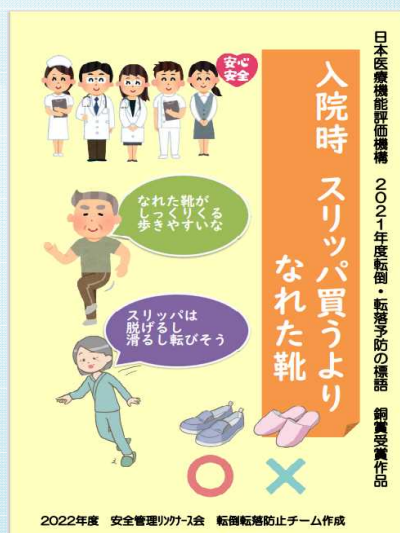
医療安全管理部

によるインシデント事例の対策検討について毎週ミーティングを開催、さらに各部署のセーフティマネージャーが集まり、事例の共有や検討を行う会議も毎週開催するなど継続した活動を行っています。その中で安全管理部長、及び安全管理部次長による全職員を参加対象にした医療安全研修会の実施、セーフティマネージャーが参加しての定期的な医療安全ラウンドの実施など行っています。

医療安全に関する院外からの情報も取り入れながら進めていく中で、昨年度は日本医療機能評価機構で募集を行った転倒転落予防の標語が全国第3位に選ばれ、今年度、安全管理部リンクナース会の転倒転落防止チームがポスターに作り上げ院内掲示を進めているところです。

医療について取り上げられる中に「チーム医療」という言葉があります。患者さんの医療を進めていく中で医師をはじめ様々な職種が連携し関わっていくことをいいます。以前はチーム医療というと患者さんを中心にしての形が示されていましたが、現在は患者さんもチームの一員であるとされています。患者さんのお名前を名乗ってもらい確認をすることや、様々な書類をお渡しする時にご自身の書類であるかを職員と一緒に確認していただくなど現在協力いただいていることが多くあると思います。今後も病院職員と一緒に患者さんそしてご家族の皆様も参加していただきながら、安全な医療を進めていくことができるよう医療安全管理部として活動を行っていききたいと思います。

医療安全管理専門員 米通由美子



『専門・認定看護師相談室』開設しました！

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師を言います。現在、当院には、11分野16名の認定看護師が所属しており、病院全体の医療の質向上のため活動しています。

専門・認定看護師会では、地域との結びつきを強め、地域医療・看護・介護・福祉の充実に貢献するため、10月に「専門・認定看護師相談室」を開設しました。

相談内容に応じて専門分野の認定看護師が、地域で療養されている患者さん、御家族、地域の医療・介護・福祉従事者の方々が、日頃抱えている困りごとやスタッフの教育・研修会の開催に関することなどに対応いたします。

相談は当院ホームページの入力フォームから受け付けておりますので、お気軽にご利用ください。詳しくは、当院ホームページをご確認ください。

専門・認定看護師会リーダー：主任看護師 伊藤啓一郎
(認知症看護認定看護師)

相談はこちらのQRコードをご利用下さい。



患者さんのケアで 困っている事はありませんか？

『専門・認定看護師相談室』のご案内

地域との結びつきを強め、地域医療・看護・介護・福祉の充実に貢献するため、岩手県立中央病院 専門・認定看護師会では相談窓口を開設いたしました。日頃抱えている困りごとの解決やスタッフの教育研修会の開催などにも活用していただければと思います。お気軽にご相談ください。

＜お受けできる相談内容＞

- 皮膚・排泄ケア分野
褥瘡・創傷ケアに関すること（処置の仕方、マットレスの選び方等）、ストーマケアに関すること
皮膚トラブルに関することなどスキンケア全般について など
- がん看護（がん化学療法、放射線療法看護分野、緩和ケア分野）、
がんの治療選択や副作用対応に関すること（抗がん剤治療、手術、放射線治療）
治療中の生活に関すること、心や体のつらさの相談、療養環境に関すること、緩和ケアに関すること
アドバンス・ケア・プランニングについて、ご家族の相談 など
- 認知症看護分野
認知症のある方の対応に関すること 認知症のある方の家族支援に関すること
せん妄のケアに関すること など
- 手術看護分野
手術前の心身の準備について、手術後の痛みについて、その他手術に関すること全般
- 糖尿病看護分野
糖尿病のある方・家族への支援に関すること、糖尿病の合併症予防に関すること、
フットケアに関すること など
- クリティカルケア（救急看護、集中ケア）分野
呼吸ケア全般に関すること（人工呼吸器の管理やケア、体位ドレナージ等）、応急処置に関すること
急変の気づきや予測、フィジカルアセスメントに関すること など

＜相談方法＞

- ① 相談は当院ホームページのから受付となります。
- ② 相談内容に応じて担当専門・認定看護師が対応させていただきます。平日日中での受付となりますので、休日をはさむ場合などは対応までお時間を頂く場合がございます

(問い合わせ先) TEL019-653-1151 (代表)
専門・認定看護師相談室担当 岩手県立中央病院 専門・認定看護師会

認知症看護認定看護師



小笠原



伊藤

糖尿病看護認定看護師



高橋

皮膚・排泄ケア認定看護師



熊谷



十文字

がん化学療法看護 認定看護師



櫻田

がん放射線療法看護 認定看護師



似内

緩和ケア認定看護師



松浦



熊谷

集中ケア 認定看護師



松村

クリティカルケア 認定看護師



佐々木

救急看護認定看護師



石川



高野

手術看護認定看護師



遠藤

第6回岩手県立中央病院 地域医療福祉連携協議会

当院では、地域の医療機関との連携推進のため、例年連携登録医の先生方をお招きし「岩手県立中央病院地域医療連携協議会」を開催しております。今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で令和4年12月1日に開催させていただきましたので、ご報告いたします。

協議会の前半では、当院の活動紹介として、①脳外科が手術で治す認知症 ②リハビリテーション部門及び認知症ケアについて ③総合診療科～多角的な診療部門～ の3題を講演いたしました。

また、今年度は協議会の途中で10分間の休憩時間を設け、当院職員と連携登録医の皆様にご自由にご歓談いただいたところ、会場内のいたるところで話に花が咲いており、コロナ禍でもこのような会を開催できたことを大変嬉しく思いました。



会の後半では、日頃より当院との連携にご協力いただいております登録医療機関の皆様への感謝の意を表し、感謝状を贈呈させていただきました。本来、ご来訪いただいた皆様に直接お渡しするべきですが、時間の関係上、例年、代表施設様への贈呈とさせていただいており、今年度は、大澤クリニック様、孝仁病院様の2施設様にご登壇いただきました。なお、連携登録医の所属する医療機関様には、後日、感謝状を郵送させていただきました。

当日はお忙しい中、多くの連携登録医の先生方にご参加いただけましたこと、深く感謝申し上げます。今後とも、地域医療の充実と発展を図るため、より一層励んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



連 携 登 録 医 募 集

○岩手県立中央病院連携登録医とは

地域医療支援病院が保持すべき要件の一つ。「開放型病床」、「施設・設備等の共同利用」を円滑に推進するための「岩手県立中央病院連携登録医要綱」に基づき、地域の医療機関の医師等の申請を受け、病院長が「連携登録医」として承認する

○申込み方法

登録医申請書(当院HPに掲載)を郵送・FAX・メールのいずれかの方法で提出



申請書を受理・承認
登録医確認書と登録医証の発行



登録完了

○お問い合わせ先・申請書送付先

岩手県立中央病院地域医療福祉連携室
〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号
TEL 019-653-1151(内線2177) FAX 019-654-5052
メールアドレス chuo-renkei@pref.iwate.jp